

建物の概要
 所在地:兵庫県佐用郡佐用町平福138-1
 構造・規模:鉄筋コンクリート造・2階建て
 敷地面積:16,355.89m²
 延床面積:6,154.00m²
 設計:ハラダエンジニアリング(株)
 施工:建築/(株)神崎組
 電気/三宝電機(株)
 竣工:平成11年4月1日

お年寄りにやさしい、“住み慣れた「住まい」”の ような落ち着きある照明環境の実現

Realization of a lighting environment of calm and "dear old house" atmosphere for the elderly people

“住み慣れた「住まい」”をコンセプト に、省エネ、快適性に配慮

Lighting concept of "a house we had been accustomed to live," is an additional appeal besides energy saving and comfortable living

施設の居住性の向上、高度介護サービスの充実、福祉マンパワーの研究機能や在宅福祉施設機能の充実等を基本コンセプトに完成した「朝陽ヶ丘荘」。“人権と人間の尊厳を守る”という理念のもと、個室を多くして豊かな環境をつくり、中庭、坪庭、吹き抜け、トップライトなどの採用、および多目的ホールなどのゆとりある空間を備えた老人ホームです。

照明設計においては、建物自体を入居者にとっての“住み慣れた「住まい」”と考え、派手な印象を抑えた、落ち着きある雰囲気となるよう考慮されています。特に共用部、事務室、廊下、厨房などの全般照明には、環境にやさしい高効率のHf蛍光灯器具、およびコンパクト蛍光灯器具を中心に配置して省エネに配慮すると共に、お年寄りの目に大敵なグレアの軽減のために、それぞれの器具は乳白アクリルカバー付、またはバツフル付タイプを採用して快適な視環境づくりを行っています。

また、エントランス吹き抜け部(高天井)には、昇降装置付きダウンライトを採用してメンテナンスを考慮しています。

全体の照明制御については、事務室および寮母室から集中制御・監視を行えるシステムとし、省力化をはかっています。

なお、昼間はトップライトや中庭などから自然光をふんだんに取り入れ、また坪庭をいくつも配置し、開放感とやすらぎを得られるように考慮されています。

照明コンセプト

Lighting design concept

開放感のある空間演出とリラックスできる雰囲気演出

住み慣れた「住まい」のような落ち着いた、安らぎ感のあるイメージづくり



2階デイコーナー
 Daytime care service corner on the 2nd floor
 20W4灯用ホームライト4台を設置。電球色で暖かい雰囲気を醸成させる



機能回復訓練室
 Rehabilitation and training room
 36Wユーラインシリーズ3灯用を中心に配置し、周囲に18Wユーラインダウンライトを24台設置してさわやかな雰囲気になっている

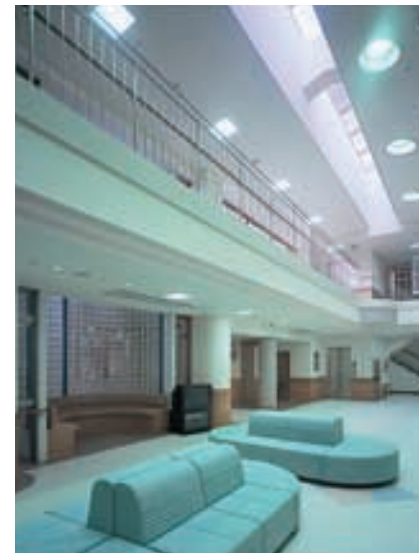


廊下
 Hallway
 コンパクト蛍光灯やHf蛍光灯器具などにより廊下ごとに変化を持たせてある



食堂
 Dining room

下がり天井部には36Wユーラインシリーズ4灯用埋込器具(25台)を、吹き抜け部にはネオアークビーム150W器具(8台)を設置。開放感のある空間を演出している

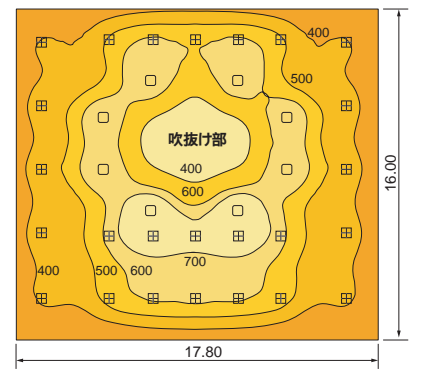


エントランス
 Entrance lobby
 250W水銀ランプ昇降装置付ダウンライト(5台)を設置。保守の容易性を考慮している



浴室
 Bath room
 明るく清潔な雰囲気をつくり出している

1F 照度分布図(床面)



記号	灯具	数量
田	天井部(FPL 36W 4灯用)	25台
口	吹き抜け(MR 150W)	8台

主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
エントランス	ダウンライト(昇降装置付)	DD - 2568	5	HF 250W
食堂	埋込器具	FR - 34671	25	FPL 36W x 4
	ブラケット	DD - 1531(S)	8	HQI 150W
機能回復訓練室	埋込器具	FR33610	14	FML-36EX x 3
	ダウンライト	FLD - 1890M(V)	24	FDL 18
浴室(4室)	直付器具	FC - 3902B	64	FCL 30/28 x 1
事務室、廊下 共用部など	Hf器具	FHR - 42651など	352	FHF 32W